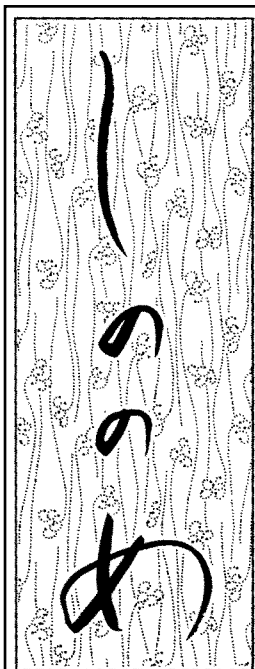




1年生を迎える会

4月24日(木)



第 163 号

平成20年7月18日
 亀田東小学校
 P T A 広報部

五・六年生に期待すること



校長 野川 彰 夫

一〇九名のかわいい新一年生を迎えてスタートした今年も早いもので三カ月が過ぎようとしています。子供が楽しみにしていたプールの学習も始まり、夏本番を迎えています。

今年度、「子供が嬉々として登校する学校」を目指して取り組んでいます。学習や集会、諸活動の中で眼を輝かせながら取り組む子供たちの姿を願っています。

学校生活で、子供たちが楽しみにしている活動の一つに五・六年生が計画実施する児童会活動、東っ子活動があります。五月の東っ子ピクニックも、行き先や遊びなど六年生を中心に話し合いで決めました。自分たちで決めることが多い活動は、よりわくわくさせるようです。ピクニックでは思う存分楽しんでください。

五・六年生が計画するとすべて楽しくなるわけではなく、グループ内の一人一人のことをよく考えた、きめ細かな計画や配慮があつて初めて活動が充実し、子供たちも楽しさ、満足感を得る活動となります。

今年、児童会や東っ子にかかわる集会等がかなり予定されています。

そこで、五・六年生の企画力、実行力がとても大切になってきます。

昨年一年間、亀田東小学校の児童会、東っ子活動、縦割りの活動ですばらしいと感激したことが多くありました。例えば、下の学年にゲームのやり方を説明する場合でも、ただ言葉で行うのではなく、絵や図など視覚に訴えるものを使う、少し複雑と判断した場合、担当者が実際にやって見せる、理解されたかしっかりと確認するなど一年生にも正しく伝えるためのいろいろな工夫が感じられたからです。今年の五・六年生にもそういった力を身につけてほしいと願っています。

六月十二、十三日、六年生は、佐渡へ修学旅行に出掛けて来ましたが、修学旅行のねらいはあるのですが、それとは別に児童会活動で必要な力の育成につながることがを期待しながら引率してきました。あいさつについては、実に見事な力が身につけていることが分かりました。楽しい学校づくりのために、五・六年生の力を貸してほしいと思っています。